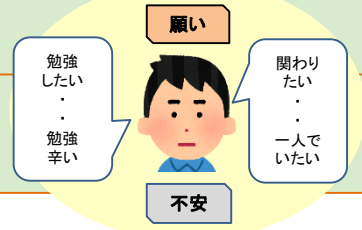


《学校の教育目標》

ありのままの自分で学ぶ

☆ 自己決定から自己実現へ

どのような心の状態であっても安心して居られる環境の中で、心身の安定を取り戻し、自己選択により自分らしく学び、新しい自分を見つけ歩む姿を目指す



目指す歩み

不安緊張

安心

居場所

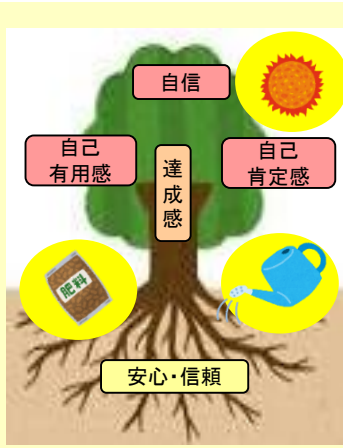
達成感

所属感

有用感

「休む→見つける→試みる→挑む」を繰り返し次のステップへ

学びに必要な力



セルフコントロール

自己理解・自己調整

- ・自分の現状や気持ちを把握し、願いをもつ
- ・自分の状態や状況に応じて、行動や感情を調整する
- ・なりたいた自分を描き、自ら生活環境を整えようとする

セルフデザイン

自己選択・自己決定 試みる・挑む

- ・学びの内容や方法について自分に合うものを選ぶ
- ・課題に対し、様々な材料をもとに考え、判断する
- ・自分の興味関心を活かし、新しい自分に向け挑戦する

ソーシャルスキル

関わり コミュニケーション

- ・他者からの働きかけを受け止め、応ずる
- ・心情や特徴に合わせながら、集団の中で行動する
- ・場や相手に応じて、主体的にコミュニケーションをする

経営の重点と組織

安心して過ごす

- 1 心身の安定を図るための教育活動の工夫や環境調整
- 2 「生徒カルテ」や「マナビプラン」の日常的な運用(作成と活用)
- 3 個の状況把握や支援方針を決定する個別検討会等の開催
- 4 自分らしい歩みをアシストする積極的な進路指導

安心TEAM

- ・学校が安心できる居場所であると実感し、信頼感を得て生活できるような学校環境を整備する
- ・個の状況を把握、分析し、その子らしい成長を促す支援体制を構築する

学び、新しい自分を見つける

- 1 習熟度に応じた系統的な学びの整備と教科2部会の開催
- 2 個の特性に対応する授業の工夫改善
- 3 自己選択し自分らしく学習を進める「マナビプラン」の活用
- 4 学び直しや発展的な学習を推進する放課後学習の時間の運用

学習TEAM

- ・一人一人の願いを実現するため、多様な学習内容や学習方法、学習環境を整える
- ・一人一人の学びを見届け、評価をし、次の目標へとつなぐサイクルを回す

他者と関わりつながる

- 1 「よりよい草潤中」を目指し協働的に探究する総合的な学習の推進
- 2 所属感を高め、関わり方を学ぶ活動(学級活動・ピースタイム)の工夫
- 3 なりたい自分を描き、有用感を実感するキャリア教育
- 4 興味関心を伸ばし新しい自分を見つける放課後活動の充実

協働TEAM

- ・目標を共有し仲間と学ぶ活動を実施する
- ・他者と関わったり好きなことに集中したりする経験の積み重ねにより、これからの生き方につなぐ態度や能力を育成する

経営の基盤

地域・家庭等と連携した学校

- 各種行事における地域関係者、関係諸機関との積極的な連携
- 保護者とのラウンドテーブル、保護者懇談会の複数開催、草潤カフェ等、保護者との密な連携体制
- 特例校としての在り方の検討(コミュニティ・スクール)

安心してできる安全な学校

- ありのままBOX、各種アンケート等、安心してできる学校生活を保障する教育相談体制の充実
- ピースタイムを核とした自立への基礎となる力を育むSSTの実施
- 各種災害等を想定した危機対応訓練の実施

教職員がチームで取り組む学校

- 生徒の情報の継続的な共有による、全ての職員が全ての生徒に関わる支援体制作り
- 毎朝の職員研修(アサカツ)による対話的な学び
- 個への配慮確認や「マナビプラン」の活用を目的とした毎週2回の学年打合せ